

シルバー
Silver

しながわ

謹賀新年



寅

宮下由紀子会員 書

写真：東品川一・三町会の獅子頭

獅子舞は、悪魔祓い・飢饉や疫病を追い払う意味が込められ、赤・黒・緑など様々な形姿で全国に広がり、数も多く最も身近な民族芸能と言われています。お正月に小さな子供が泣きながら頭を噛まれている姿は誠に微笑ましく、皆様の記憶にも残っているのではないのでしょうか。

まだまだ新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっておりますが、今年こそ邪気が一掃され、輝かしい一年となることを願っております。

新春を迎えて

品川区長 濱野 健



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年も、これまでとは異なる生活を過ごす年となりました。平常な日常生活への移行を円滑に行うため、区民の皆様には感染予防の徹底をお願いするとともに、ワクチン接種を進めてまいりました。ご協力ありがとうございました。品川区では引き続き、社会活動と経済活動の両立を図りつつ、感染拡大の防止に取り組んでまいります。

また、昨年は、一年延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。残念ながら無観客での開催となりましたが、品川区では大会後のレガシーを見据え、区民の豊かな生活に結びつけて展開してまいります。

さて、品川区シルバー人材センターにおかれましては、昭和52年の設立以来、今日までの長きにわたり、都内で有数の素晴らしい実績をあげられており、高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってまいりました。

社会全体での生産人口が減少する中で、高齢者雇用の期待は高まっております。センターの役割は、今後ますます高まっていくものと存じます。生きがいを見いだせる就業機会の提供が、より一層の住み続けたい地域社会づくりへと繋がっていくこととなれば幸いです。

センターが今後とも発展していきますよう、品川区は引き続き支援に努めてまいります。

結びにあたり、本年が、会員や事務局の皆様にとりまして、幸多き一年でありますことをお祈り申し上げます、年頭の挨拶といたします。

新年を迎えて

会長 岩澤 政善



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

令和三年は一年が新型コロナウイルス感染で明け暮れました。幸いにして会員の皆様には無事の一年であったことと拝察いたします。誠に感謝です。

昨年十一月半ばから感染者が劇的に減りました。感染者数は二十人を境に上下していましたが、十一月二十三日には六人と一桁になりました。このままの状態が続く、さらに第三回目の接種が予定通り進んで行けば、新型コロナウイルスを必ずや抑えることができるのではないかと、第三回目の接種実施を大いに切望する次第です。経済は活気づいて参りましたが、雇用はすぐには戻って来ていないのが現状です。当センターも若い就業者層に仕事を先取りされて、思うようにマッチングが進みません。求職のレベルをもう少し下げるときと間口は広がります。

一方、コロナ禍により会員が減少し続けています。新聞折込やチラシの配布、駅頭ポスターなどの広報活動により会員の募集に努めています。会員の皆様も是非とも身近な友人知人をお誘いください。些少ですが、千円のクオカードを差し上げます。新型コロナウイルス感染予防に心掛けながら仕事を通じて健康寿命アップ、生涯現役をめざし、どんな小さなことでもいいので一日一仕事を見つけて消化してみましよう。

ある有名な俳優が、働き続けることは生涯現役の「薬」だと言っています。企業ではテレワークが進んでいますが、シルバー人材センターにとつてその就業形態は、体を適度に使うこととならず決して皆さんのプラスにはなりません。感染予防のルールを守ること、これを個人個人の責任と捉えながら、その条件下で就業する。そのことで事務局も安心して仕事を提供できます。それが一つ一つ積み上がってゆくゆくはセンターの発展へと繋がります。やがて地域社会へ大いに貢献していくことになると私は信じています。おわりに、会員の皆様の今後の益々のご活躍を期待いたしまして新年の挨拶といたします。

令和3年度上半期の執行状況について

事務局長 安井 裕彦



10月の理事会で報告しました上半期の事業実績についてお知らせいたします。令和3年度上半期の契約金額は、請負・委任が5億6149万円と目標12億円の47%、派遣が525万円と目標2千万円の26%となっており、前年同様厳しい実績となっております。新型コロナウイルス感染症対策緊急事態宣言の延長による契約の回復遅れが影響しています。民間部門では、一時休業やテレワークの拡大で社内清掃や食堂の洗い場などの需要減が続いております。公共部門も施設の利用制限などの影響が続いています。また、シルバー派遣も保育補助など新規需要が伸び悩んでいます。下半期は、新規事業の開拓を進めるとともに、未就業会員への働きかけにより事業実績の確保に努めます。

年間事業目標と上半期の執行状況

	令和3年度目標 (令和2年度実績)	令和3年度 上半期	目標の 達成率
1 会員数(名)	2,500 (2,315)	2,214	88.56%
2 受託件数(件) ※請負・派遣合算	16,000 (14,117)	7,176	41.24%
3 契約金額(万円) ※請負・派遣合算	122,000 (111,719)	56,674	46.45%
4 就業実人員(名) ※請負・派遣合算	2,000 (1,885)	1,737	86.85%

も新型コロナウイルスの影響で退会者が増え、他方新入会員募集も思うに任せず、また会員の皆様からのご紹介も難しかったためと考えています。10月からは新聞折込やチラシの配布、入会出張相談会など加入促進活動を積極的に進めるとともに、未就業会員の方への小まめな連絡、案件紹介に努めるなど情報提供を積極的に行って退会防止を図ってまいります。

最後に、会員の皆様、会員勧誘へのご協力を改めてお願い申し上げます。

会員さん趣味のコーナー

書を楽しむ

大井東地区 板垣 幸雄



今から数年前のことになりますが、偶々新年会の帰り道に、シルバーセンターの書道教室を覗く機会がありました。教室では、皆さん一心に筆を動かしていました。

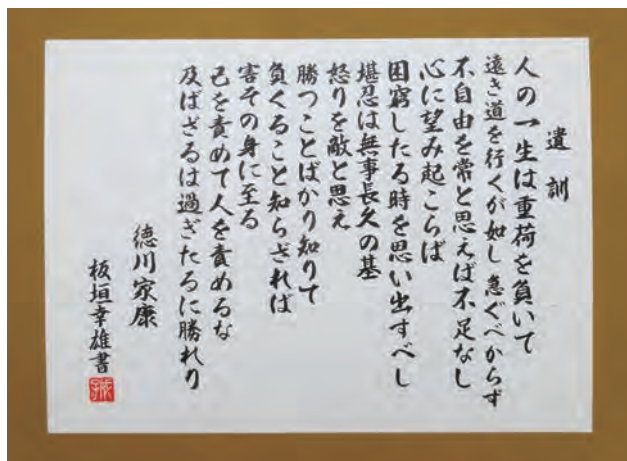
それまで私は、書道の経験がありませんでしたが、皆さん綺麗な字を書くな私も書けば少しは上手くなれるかな?と、にわかには立ち、入会を決めました。

また、書道展に出かけることもありました。その際、展示されていた作品からは、字というよりアートといった様相で、書道の造形芸術としての世界を見た気がしました。

シルバーセンターの展覧会では、書道の専門店、TOCビルの「ならや本舗」に、展示の手ほどきをしていただいています。専門店の助言で展示作品が生き生きとしてくるのには本当に驚かされます。

コミュニケーション手段がどんどん進歩し、生活から手書きの文化が消えつつある現代ですが、その進歩と反比例するかのようになり、人と人を結ぶ心が希薄になっていくような感じがします。

そういった時代だからこそ、書道は心を潤す役割を果たしてくれるのかもしれない。書道は奥が深いなあ。これからも、字と筆とにらめっこしながら書道に精進していきたいと思っています。



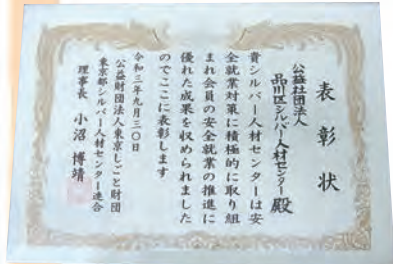
地区委員会からの お知らせ

地区委員会では、例年、地区活動の一環として新年会を開催してきましたが、今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を取り止めることとなりました。

そこで、新年を寿ぐ意味から、全地区委員会総意のもとお年賀を配付することとなりましたので、お知らせいたします。



安全優良シルバー表彰



今年度も表彰を受けました。



安全グッズ・ マスク5枚入り

安全管理委員会で決定した、マスク(5枚入り)を最寄り事務所まで3月まで配付しています。お一人様一回です。是非お立ち寄り下さい。



就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

- 1月13日(木) 午後1時～午後4時
本 部 阿 山 理 事
荏原支部 阿 部 理 事
- 2月10日(木) 午後1時～午後4時
本 部 和 泉 副 会 長
荏原支部 朝 岡 理 事
- 3月10日(木) 午後1時～午後4時
本 部 阿 山 理 事
荏原支部 阿 部 理 事

会員総数

令和3年11月末日現在

2,238名

男 1,226名

女 1,012名

あ と が き



新年あけましておめでとうございませう。今年こそは、幸せに楽しく過ごせませう。

皆さん年賀状の最初のご挨拶は、「あけましておめでとう」ですか「謹賀新年」ですか。色々です。

床屋で育った私は、届いた年賀状の「あけましておめでとう」がいつもうらやましい思いで、読んでいました。昭和30年、40年頃、お勤めの人は、1ヶ月に1回調髪に来ていましたし、盆、暮れには、女性の顔剃りや、子どもまで来店するので大忙しです。1月1日の午前4時に仕事が終わる、夕食でやっとお正月です。

家族にとつての年越や、初詣がとてもうらやましく思った子供時代でした。なので私は、「勤賀新年」でいつも賀状を出していました。

現在の若者は、スマホで「アケ オメコトヨロ」あけましておめでとうございませう。今年も宜しく、だそうです。何というか簡素過ぎてお正月が来てくれないのではと心配です。

最初から私事で恐縮ですが、どうぞよろしくお願いたします。

(担当理事 渡邊みい子)